

選ばれる施設を目指して！ケアの向上の取組

～業務主体のサービスから個別ケアへの取組でみえてきたもの～



社会福祉法人 恵望会
特別養護老人ホーム 恵望園はなえにわ

発表者

ケアワーカー 大山 茉希
吉田 圭

社会福祉法人 恵望会



昭和53年設立

特別養護老人ホーム 71床

短期入所 18床

通所介護

定員 39名・29名 市内2か所で運営

居宅介護支援事業所 約90名を担当

地域包括支援センター 市内2か所を受託

全室個室ユニット型

地域密着型特別養護老人ホーム 恵望園はなえにわ



平成24年3月 開設
1階 10床 個室ユニット型
2階 19床 多床室



はなえにわ多床室の特徴



快適な生活の支援に、着目すべき点はなにか？



入居者様の理解を深めるため、改めて情報の収集と確認を手掛けた。

- ① 生活に伴う職員の気付きを重視し、情報の共有を図る
- ② ご家族様等と面談する機会を増やす
- ③ 職務担当の設定で専門性を高めて取り組む

① 生活に伴う職員の気づきを重視し、情報の共有を図る



この取組によって、職員間で日常的に情報交換する機会が増加しました。

当初は必要な情報の視点が定まらず、情報量だけが増大する傾向でしたが、徐々に情報の質も向上、職員のモチベーションアップにもつながり、職員間のコミュニケーションをとりやすくなりました。

② ご家族様と面談する機会を増やす



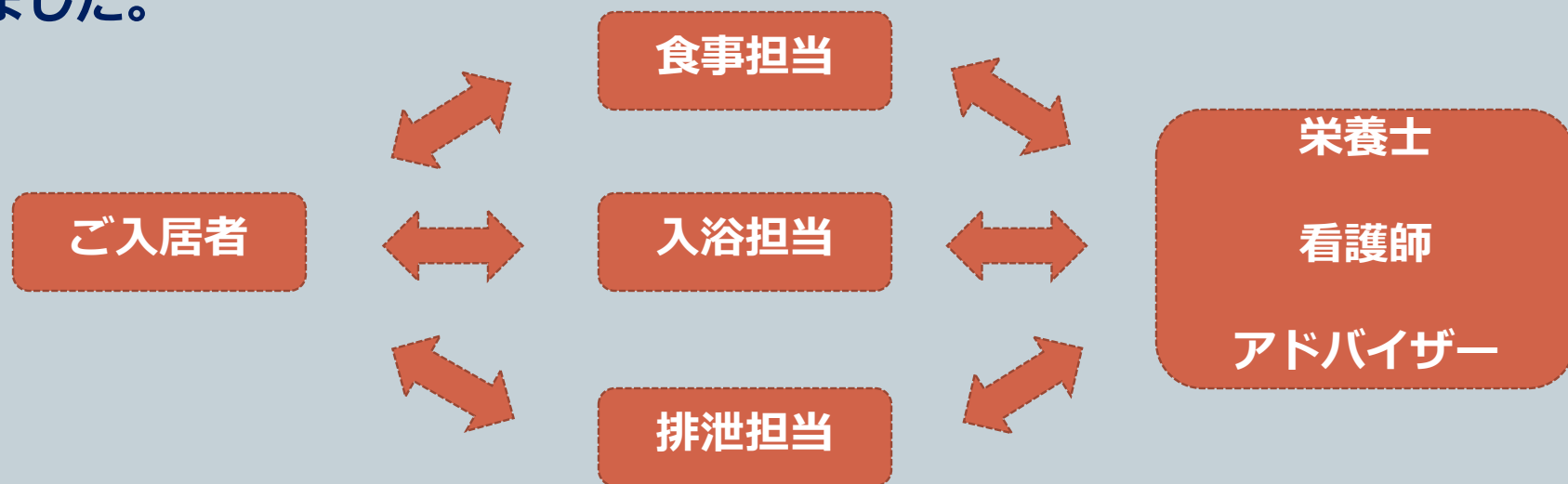
- 以前は、限られた職員のみで会議等が終結し、現場には紙面による情報のみが伝わっていたため、情報の解釈に差が生じる事が多かったが、ご家族様から直接お話を伺う機会を設けることで改善が図られ、サービスの向上につながりました。

また、面談の機会が増えたことでご家族様との関係も深まり、日頃の様子等を伝達しやすくなったことで、施設での生活についての理解も深まる結果となりました。

③ 職務担当の設定で専門性を高めて取組む

- 職務担当を設けた事で、専門職との調整もコンパクトになり、担当者が窓口となって外部の方からアドバイスをいただく等、各々が責任を担って実践することで、就労意欲も向上、活発な情報交換が図られるようになりました。

また、担当職務に関する研修等へも積極的な参加が図られ、情報の質も向上し、広く浅かったものが、的を絞った効率的な情報へと変化しました。



事例：水分摂取を拒まれる方へのアプローチ



- Aさん 女性 88歳 アルツハイマー型認知症 要介護4
【入居時の様子】 ・拒否が強い 口元を手でおおう動作



飲まない！ いらない！

お茶なんて飲まないよ！！

<以前入所されていた施設からの情報>

- ・お茶等の色のついたものは飲まない。スプートリンク等で対応していた。

<ご家族からの情報>

- ・「昔からたくさん飲む感じではなかったなあ」のこと。

日常のケアからの情報を抽出



色々な種類の飲み物



無色の物でも拒否することがあった。
色つきでもココアなどはスムーズに飲んで
いただけた。

コップにストローを
さして提供



拒否なく飲んでいただけることが多い。
ただ、1日の摂取量は500CC前後と安
定しない。

職員間で提供方法・
摂取量の把握



- ・ どの職員が対応しても本人がスムーズに水分摂取できるタイミングの気づき
- ・ 本人の嗜好のみが水分摂取拒否の要因ではなかった。
- ・ 本人の飲みやすい提供方法の発見

現在の支援内容について

タイミングに合わせて
飲みやすい方法で！

一日の水分摂取量

500CC



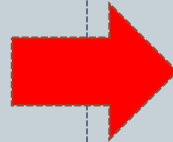
1000CC



車イス使用から歩行での移動へ

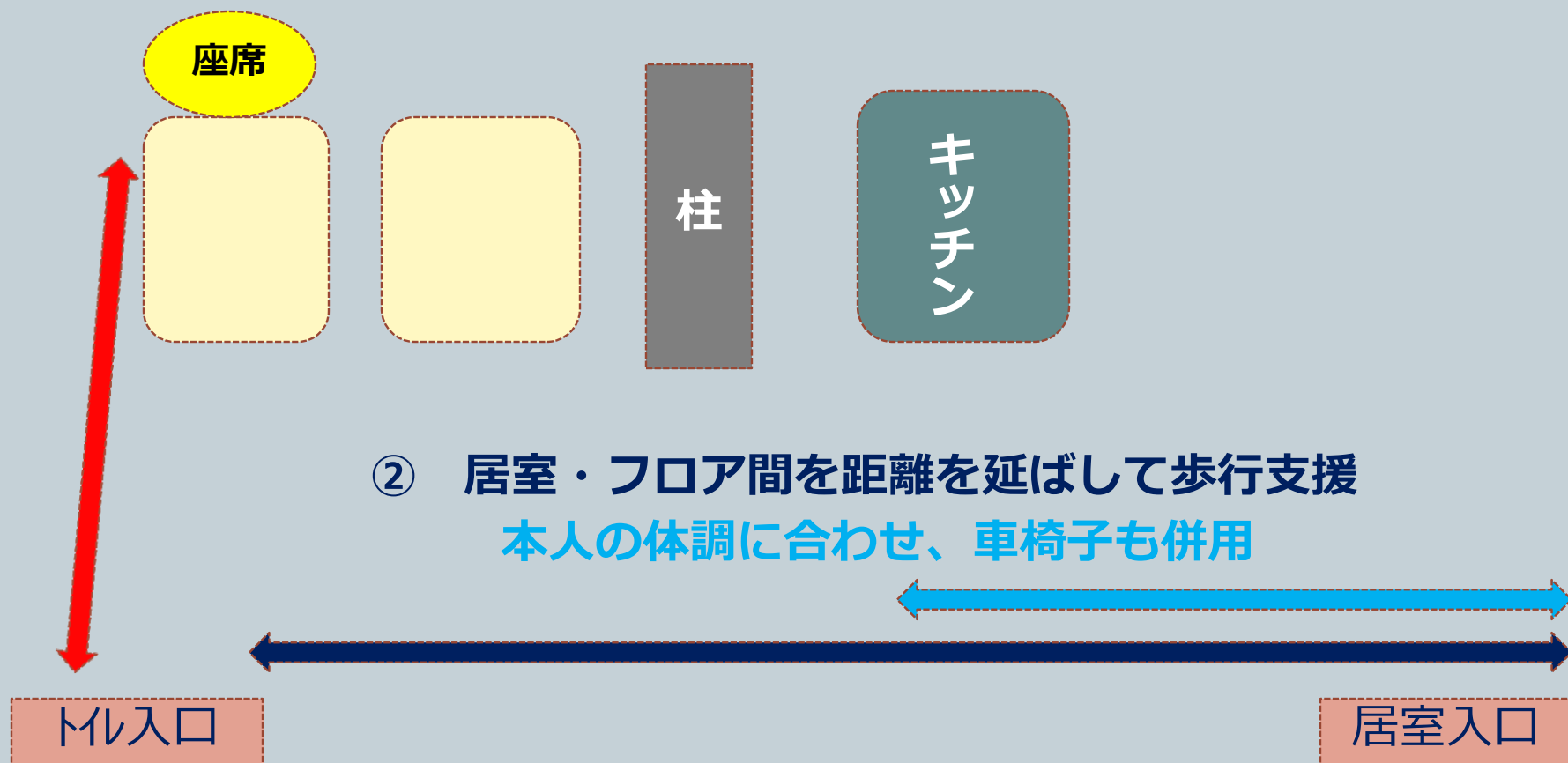
入居時から車イスを使用して
おり、自操はしていなかった。

表情に明るさが見られ、生活
動作が拡大傾向に！



職員間で支援方法の情報収集と共有

① フロアからトイレまでの約5m程度の歩行支援



② 居室・フロア間を距離を延ばして歩行支援 本人の体調に合わせ、車椅子も併用

現在の支援内容と効果

生活動作の拡大が表情の変化にもつながる。TVを見て大笑いも！



一人掛けのソファへ座り替えることで安楽なポジションの確保と転倒の防止の効果があった



手引き歩行による移動が安定！
日中フロアで過ごされる時間が増えた！

情報の読み違えから……

- Wさん 女性 95歳 アルツハイマー型認知症 要介護5
発語はほとんどなく、意思疎通は困難。

【食事】 ラーメンの提供禁止

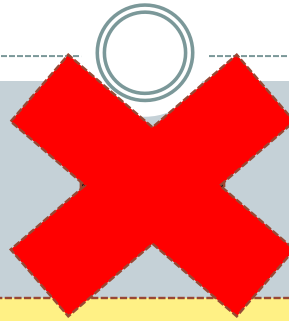
担当者会議において、家族から……

「ラーメンを食べるのが大好きな人だった」



情報の再確認と共有

ラーメンの提供禁止



「ラーメンの嫌いな方」

禁止の理由は・・・

入居前の施設で評価。嚥下機能の低下から「嚙って食べるとむせ込みが強まる為」と判明。

柔らかく短めにカットした麺で、トロミを加えたスープに仕上げたラーメンを提供しています。大好きだったラーメンの提供が再開となり、ご家族も喜ばれている。

「ラーメン禁止」の勝手な解釈を反省。大好きなラーメンが提供されなかった点を反省し、情報を再確認すると他にも提供に支障のない品目があることがわかり、訂正をおこなった。

排泄ケアに関する検証



- **記録シートからの読み取り**

- ① 日中は、ほとんど汚染がない状況にもかかわらず、尿とりパッドを使用している。
- ② 排泄の状況に対応するため、尿とりパッドを重ねて使用している。



- **現在の支援内容**

- ① 排泄状況に合わせたトイレ誘導を継続することで、日中はパッドを外して生活できるようになった。
- ② オムツメーカーからアドバイスをいただきながら、状態にあったアイテムを選定することで、双方にメリットを得ることができた。

排泄ケアに関する検証

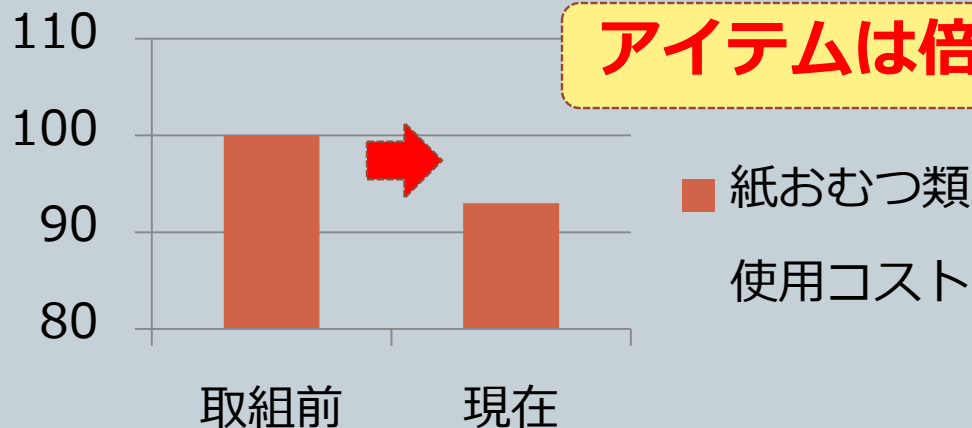
【取組前】

排泄ケアのアイテム数は
尿とりパッドテープ止めタイプ
パンツタイプを合わせて
6種類を使用

【現 在】

タイプ別の尿とりパッドを含む
12種類を使用

紙おむつ類使用コスト



アイテムは倍増！ が、使用コストは約7%削減



ご静聴ありがとうございました。